



# 稱讚 二二二号

二〇二二年六月一日発行

いっさい うじょう

一切の有情はみなもって世々

しじょうじじょう ぶい も きぎやうだいてい

生々の父母・兄弟なり。

じゅんじしじょう

いづれもいづれも、この順次生

ぶつ な

に仏に成りてたすけ候ふべき

なり。

『歎異抄』第五条 『註釈版聖典』八三四頁

この間、NHKの大河ドラマ 青天を衝くを見ていたら、渋沢栄一さんが、京都に上ることを父親に許しを請うシーンで、父親が 今口まで、孝行」というものは、子が親にするものと思っていたが、親が子にすることだったのだなあ」というようなことを感慨深く述べて、貯蓄していたお金を英一に渡すところが、印象に残っております。

自身を振り返ってみますと、大学院まで

COVID-19禍中 お見舞い申し上げます。

出させていただき、東京に布教所を開設し、ご本尊をお迎えさせて頂くなど、数え切れないほどの親からのあら



発行 浄土真宗本願寺派 稱讚寺  
〒二二一〇〇七五  
東京都足立区一ツ家三丁目五番二〇号  
TEL 〇三ー五二四二ー二〇二五  
FAX 〇三ー五二四二ー二〇二六  
HP shousanji.com

ゆる物心両面の恩恵にあずかっていたなあと、今更ながら、思い出されることでありました。親の心、子知らず」であります。

親思う心に勝る親心」とも言われます。それは存命中だけではなく、仏さまと成っても、今も続いているのであります。う。それも、存命中の母のことは、時々思い出せても、亡き父に対しては、父という感情のもと、ほんの「瞬しか思い出せていないのかも知れません。

亡き方を 偲ぶ」とは、生きている私が一方的に、亡き方を思いやっている心ではなく、本来、お互いに思いやる”の意味だそうです。私が思っている以上に、私のことを思ってくださっているから、日常、「〇〇〇〇変わる私の心に、 偲ぶ」という尊い心を起こさせてくださるのでしよう。  
親”とは 阿弥陀さま”のことであり、私たちの先人は、みな阿弥陀さまの化身の仏さまと成り、そのお心のご本願を届けてくださっていると聞きするところがあります。

# 稱讚寺 親鸞聖人降誕会

2021年5月16日



五月二十一日は、親鸞聖人のお誕生日です。今年、稱讚寺では、この日に先がけて五月十六日の日曜日に、のんのん法話会に併せて、おつとめいたしました。

親鸞聖人と  
ご本尊の前に  
打ち敷を掛け  
て、お供物を  
飾り、お仏華  
と蠟燭は朱蠟  
にしただけで  
す。

高橋八重子  
さんと中木原  
乃既子さんが  
ご参拜くださ  
いました。



「海」 如来世に興出したまふゆゑは、ただ弥陀の本願海を説かんと成り。」 現代語訳 お釈迦さまがこの世にお出ましになられたのは、ただ、阿弥陀さまのご本願を人々にお伝えするためでありました。〜とほめ讃えておられます。

お釈迦さまは、この世に誕生して直ぐに七歩歩いて上下を指して 天上天下 唯我独（為）尊 三界皆苦 吾当安之」と宣言されたと伝えられています。この世で自分が一番尊いという意味ではありません。

依と成って、苦しむ人々を救う」との誓いを意味しています。

お釈迦さまも、親鸞聖人も生まれたときは、みんな一緒に、凡夫（ただの人）であ

ご一緒に  
累祖讃迎  
作法』 齋  
楽礼拝（正  
信偈の十二  
礼節）をおつ  
とめしまし  
た。

法話は、  
住職がいた  
しました。

正信偈に  
如来所為  
興出世 唯  
説弥陀本願



りました。

先のお釈迦さまの 天上天下...」の  
お言葉を私たち一人ひとりに置き換える  
この世の私たちは、必ず仏となる存在で  
あり、苦しみのこの世界をやすらかにして  
いこうとはたらく」と解せるのだからと思  
います。

蓮如上人は、お名号が火事で焼かれた折  
り、お弟子の法敬房が、六体の仏となら  
れました。不思議なことです」と話すと、  
それは不思議なことではありません。仏  
が仏に成るのは不思議なことではなく、こ  
の悪凡夫が仏に成ることこそ不思議なこと  
です。」と仰せられたさうです。ここで  
は 阿弥陀さまをたのむ「念にて」の理が  
があります。

お念仏の教えを 超世希有の正法」と言  
われます。 超世」とはこの世で最も勝れ  
たものという意味ではなく、生死を超え  
る「唯一の教えと  
いう意味です。

この世に生まれ  
た私たちは、阿弥  
陀さまのご本願に  
出遇い、必ず仏に  
成っていく存在で  
あると気づかせて  
いただくことに歓  
喜があるのだろう  
と思います。

親鸞聖人御誕生八五〇年

立教開宗八〇〇年

慶讃法要



### ※団体参拝申し込み案内

親鸞聖人御誕生・八五〇年並びに立教開宗八〇〇年記念の慶讃法要(二〇二三(令和五)年三月～五月)本山(厳修)について、全国各教区に団体参拝のご案内がございました。

現在、COVID-19の禍中でもあり、気の早いことだと思われることかと存じますが、今年八月末日までに概ねの参拝予定の申込書を提出することになりました。

二〇一一年に親鸞聖人七五〇回大遠忌法要から十年になり、東日本震災直後のご法要でもありました。当時、ご一緒に参拝いただきましたことを、もう十年にもなるのかなあと懐かしく思い出されることあります。

二年先のことではありますが、このような大

きなご法要は、なかなかお会いできるものではないとも思います。

もう一度、みんなで参拝してみたいと思われる方、また、初めてご本山に参拝してみたいと思われましたら、稱讃寺にお申し出ください。

尚、左記の通り、参拝日の指定がございますことをご注意ください。

#### 記

三月二十九日(水)	午後	の法要
四月一日(土)	午前	の法要
四月三日(月)	午前	の法要
四月十一日(火)	午後	の法要
四月十三日(木)	午後	の法要
四月二十四日(月)	午後	の法要
四月二十六日(水)	午前	の法要
四月二十八日(金)	午後	の法要
五月八日(月)	午後	の法要
五月九日(火)	午前	の法要
五月十一日(木)	午後	の法要
五月十六日(火)	午前	の法要
五月二十一日(日)	午前	の法要

※東組として団体参拝を行うか、また参拝日も未定でございます。

皆さまのご希望をお聞きして、今後、東組内で決めて参ります。一回の参拝人数も制限があるようです。

尚、参拝の方には、お一人、東組より一万円補助いただくことは決まりました。



親鸞聖人750回大遠忌法要  
2011年5月14日

## 稱讚寺

# 永代経法要のご案内

あんらくじょうど  
安楽浄土にいたるひと

ごじよくあくせ  
五濁悪世にかへりては

しやかむにおつ  
釈迦牟尼仏のごとくにて

りやくしゅじょう  
利益衆生はきはもなし

浄土和讃 讚弥陀偈讃

東京は、六月二十日まで、緊急事態宣言中であり、不要不急の外出は控えるなど、まだまだ当分の間は、ワクチンの接種をしても、感染予防を心がけなければならぬことでもあります。

そういう状況の中ではありますが、下記の通り、「永代経法要」を執り行いたく、ご案内申し上げます。

私たちの先人は、今、どうされておられるのでしょうか？

お浄土に生まれ、仏さまと成っておられるのであります。

それは、あの世への逝きっぱなしのことではありません。

あの世へ逝きっぱなしで、さまよって

るんじゃないかと思われるのは、この私が阿弥陀さまのご本願を疑っている証拠でもあります。

自分の都合で判断しがちな私たちですが、阿弥陀さまのご本願に、今、出遇っていることを、お互いに確かめ合える衆会になれたらと思います。

短いお時間ですが、感染予防を徹底してお迎えいたしますので、ご参拝ください。

記

日時 六月二十七日(日)

午後二時～午後三時

日程 一四〇〇 おつとめ

一四〇四 法話

一五〇〇 恩徳讃

※携帯電話のアプリから稱讚寺カメラで、ライブで法要にリモート参拝できます。

☆先月号(二二一号)にて、下段の年会費のご案内をしましたところ、多くの方よりお振り込みいただき、誠にありがとうございます。未納の方は、申し訳ございませんが、ご協力の程、宜しく願います。

## 2021(令和3)年度 讚迎会年会費 (稱讚寺 門信徒会)のお知らせ

COVID-19の禍中、なかなかお寺にお参りできない状況でございますが、引き続き、お寺のこともお心に留めておいていただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

年会費 ¥6,000-(振込手数料別)

振込先 ①城北信用金庫 一ツ家支店 店番 049 口座番号 普通 6176051  
名義 浄土真宗本願寺派 稱讚寺教会 代表 北村信也

②ゆうちょ銀行 店名 四四八(読み ヨンヨンハチ) 店番 448 口座番号 普通 2374851  
名義 北村信也

※JPに口座のない方は、同封の「電信振込請求書」をお使いください。但し、手数料が550円掛かります

親鸞聖人御誕生八五〇年  
立教開宗八〇〇年 慶讃法要企画

## 親鸞聖人を知ろう

### 親鸞聖人と東国の人々

今井雅晴氏

山伏は呪文と指・腕体の動きによって祈りの効果を現そうとします。呪術です。分かりやすくは、おまじないといえます。山伏にとっては念仏もおまじないの一つでした。念仏を称えることによって、自然や社会・人間の状態を動かそうというのですから、いわば自力の念仏ということになります。

親鸞聖人は、もちろん、そのような念仏は否定されたのです。当然のように山伏からは大きな反発があったものと思われまます。前掲(前号二二二一号掲載)の『親鸞伝絵』の前半を現代語訳してみます。

親鸞聖人は常陸国で専修念仏を広められました(中略)。ところがここに一人の僧侶がいました(それは山伏だったということでした)。彼は親鸞聖人が広めておられる正しい仏教を怨みがましく思いました。そして遂に親鸞聖人を殺害しようと、時々聖人の様子をうかがっていました。弁円は親鸞聖人がよく利用する板敷山の山道で何度も待ち伏せしていましたけれども、一度も出会うことはできなかったのです。

となります。これが引用部分の前半です。この『親鸞伝絵』は覚如の執筆です。したがって、親鸞聖人の在東国時代からはかなり年数が経っています。正確な歴史的事実が記述のとおりであったのか、その確認はなかなかむずかしいところです。しかし大まかな筋はだいたいこのとおりと見てよいのではないのでしょうか。

すなわち、親鸞聖人は東国へ入ってほしいに多くの人の信頼を得て、その説かれた念仏の教えが広まっていきました。すると山伏たちは危機感を募らせはじめました。信仰そのものもそうでしょうけれども、山伏たちは人々に呪術や祈禱をすることによって生活の糧を得ていたのです。その道が細くなり、途絶えるということになります。困ったことです。また今まで人々の尊敬を勝ち得てきたという自負心、プライドを傷つけられたということにもなるでしょう。これは耐えられません。俗っぽくいえば、さらに親鸞聖人のファンが増えていく。何とかしなければと思っても、なんとかできない。そこで遂に殺害しようと弁円は決心したのです。

しかし板敷山の山中で待っていても、この道を通るはずだと思っても、弁円は親鸞聖人に出会うことはできませんでした。

板敷山は、稲田草庵から南方の国府や鹿島神宮へ行くときの通り道です。当時、街道などの幹線道路は平地にはありませんでした。なぜなら、大雨が降ったら道が見えなくなるし、また溜まった水で危険なこともあります。歩いていると沼地に落ち込むこともあるでしょう。山腹や尾根ならその心配は少ないのです。雨が降っても、自然に低い方に流れていくてくれます。

沼地や広い川で行く手が遮られることが多い東

海道よりも、古代から中世にかけては山手を行く東山道が奈良・京都から東国へ行く幹線道路であったゆえんです。

弁円は板敷山で親鸞聖人に出会うことはできませんでした。宗教史の一般的ないい方をすれば、奇蹟が示された、ということになるのでしょうか。その間の事情は分かりません。しかし、弁円は自分の行動や考えに疑問を持ち始めていたようです。このように人気が出た親鸞聖人とはどのような人なのか。もしかしたら、自分に誤りがあるのか。前掲『親鸞伝絵』の後半を現代語訳すれば、次のようになります。

弁円が稲田草庵を訪ねると、親鸞聖人は何のわだかまりもなく草庵から出てこられました。弁円はその姿に接すると、今まで聖人を殺害しようと思っていた気持ちがあつという間に消えてしまいました。その上、今までの自分の考えや行動を反省し、後悔して涙が流れて止まりませんでした。

『親鸞伝絵』には、つづいて弁円が親鸞聖人に入門して明法房という名をいただいたと記されています。

板敷山から稲田、そして『十四輩牒』にあった檜原まで、山伝いに行けば二十数キロから三十キロの距離です。檜原には現在でも弁円の墓と称する塚が残っています。久慈西郡檜原は弁円の本拠であったのです。そして、少なくともこの山伝い二十数キロから三十キロは、弁円の勢力圏だったのでしょう。

山伏が勢力を持っていたのは、この付近だけに限りません。日本全体に山岳信仰があり、山伏(修験者)がいたのです。そして私たちには注意しなければならぬことがあります。当時、呪術は科学であったことです。おまじないの方が科学としては正しかったのです。なぜでしょうか。

当時、たとえば病気は鬼や魔物が近づいたり、体内に入ったりに起すものだと考えられていました。それが常識でした。それで病気を治すには魔物を追い出さなければなりません。そのため呪術が必要でした。鬼や魔物が嫌いな呪文を説いたり、念仏を称えたりしたのです。つまり、念仏も呪文の一つだったのです。実をいうと、今日風の薬も、昔は呪術の一つの手段と考えられていたのです。この鬼や魔物が近づき体内の気が乱れるからだと考えていました。これがかつての中国人の常識であり、科学でした。現在でも、中国の人たちは気を大切にしています。

現代日本人は、病気は病原菌のせいだと考えってきました。それが科学だと思っていました。しかし近年では、遺伝子のせいであるという考えも出てきています。

時代によって常識や科学は変わるのです。先ほど、鎌倉時代の常識であり科学である呪術を今日の私たちが笑うことはできないと申し上げたのは、そのような観点からです。

そして親鸞聖人に関して、次のような話に展開するのです。弁円の山伏が主張するような科学としての自力の呪術に、聖人は対抗されたということなのです。当時の科学に対抗して、聖人は他力の念仏を説かれたのです。念仏で病気を治せる、田畑の病虫害を退治できるという常識に対し、聖人は念仏はそのような動きをするものでは

ない、呪術では人間を救えないと説かれたのです。その説得が功を奏して、東国の多くの人々が親鸞聖人に顔を向け、その教えを受けとめるようになったのです。

では聖人はどのように説かれたのでしょうか。また、東国の人々は何をもって聖人の教えをいたたくようになったのでしょうか。私は、それは感動であったと考えています。理論ではなく、感動です。『親鸞伝絵』にも、弁円は専修念仏の理論に納得して聖人の門下に入ったとは記してありません。

すなわち尊顔そんげんにむかひたてまつるに害心たげしん忽たちまちに消滅しょうめつして、剩あまひい入後悔の涙禁じがたしあまひい入ということだったので。一言もしゃべっていないのです。少なくとも教義のことは、『親鸞伝絵』には、続いて、

ややしばらくありて、有ありのままに、日來ひらいの宿鬱しゆくうを述すといへども聖人またおどろける色なし。

とあります。しばらく泣き、すなおになった弁円が、親鸞聖人のことをおもしろくなく思っていたこと、ついには殺害しようと計画したことなどを話したところ、聖人は平然として少しも動揺する心配がなかったというのです。

ここでも、親鸞聖人は弁円の話聞いてあげただけで、専修念仏の話などまったくしていません。弁円は親鸞聖人の専修念仏の理論に納得してその門下に入ったのではないのです。

なお、明法は茨城県石岡市の大覚寺(本願寺派)、同県常陸大宮市の法専寺(大谷派)、同県那珂市の上宮寺(本願寺派)などの開基となっております。

## 二十四輩第一・性信について

では、親鸞聖人の一弟子として有名な性信房について見ていきたいと思えます。先ほどの『二十四輩牒』の引用部分をあらためてご覧になってください。第何番などと、順番の数字は入っていません。そうなのです。当初は順番などなかったのです。いつのまにかもつともらしい順番がついてしまいました。それで、第一番や第二番の門弟や寺は第二十番くらいに比べて偉いのですか、などという質問が出るようになってしまいました。決してそのようなことはありません。

ただ、第一番目の性信は横曾根門徒の最初の指導者ですし、第二番目の真仏は高田門徒の最初の指導者、第三番目の順信は鹿島門徒の最初の指導者です。この三つの門徒集団は、初期真宗教団の三大門徒集団といってもよいと思われまます。したがって第一から第三までは、間違いなく親鸞聖人と初期真宗教団にとって重要な門弟であったのです。

そのうち性信は、現在に残る親鸞聖人の手紙四十数通のうち、六通に宛名としての名前が残っています。宛先が判明する聖人の手紙のうちで、もっとも多い数です。

性信を開基とする東京都台東区の報恩寺の伝では、性信は文治三年(一一八七)の生まれであるといえます。親鸞聖人より十二歳の年下です。

この報恩寺は国宝の坂東本『教行信証』を伝来してきた寺で、通称、坂東報恩寺として知られています(大谷派)。この坂東報恩寺に所蔵される「報恩寺開基性信上人伝記」上は、次のような文章で始まります。

夫性信上人ノ俗姓ハ、大中臣、常州鹿嶋ノ人ニテ、名ハ悪五郎ト云々、蓋ソノ人トナリ豪伽ニシテ意豁如タリ、(中略)十八歳ニシテ証誠殿ニツヤシタマヒケリ、于時不思議ノ靈夢ノ告ニヨリテ、黒谷法然聖人ノ禅室ニ尋マイリタマヒテ、ハジメテ当流祖師親鸞聖人ニ謁シタテマツル、  
〔茨城大学人文学部紀要〕人文科学論集第十九号に翻刻。一九八六年)

「大中臣」というのは鹿島神宮の神官として知られた二、三の家柄のうちの一つです。他に、中臣、鹿島などの家があります。「悪五郎」という名前は興味深い名前です。なぜなら、この「報恩寺開基性信上人伝記」は江戸時代の書写ですが、「悪五郎」という名前が鎌倉時代から伝えられていたのであったなら、悪には勇者としての意味が込められて、います。江戸時代に性信に仮託して作られた名前であったなら、単なる乱暴者といった意味にしかならないからです。

神官は、今日の常識と異なって、完全な武士であり地方豪族です。鎌倉時代に制作された性信座像を見ると、容貌魁偉、武士として活躍したであろうことを思わせる顔つきをしています。(群馬県邑楽郡板倉町宝福寺蔵)。

また引用部分の「証誠殿」というのは紀伊半島の熊野本宮の拝殿のことです。「ツヤ」は通夜で、お籠もりをすることです。

「報恩寺開基性信上人伝記」によれば、性信は熊野本宮での神託に従って比叡山黒谷の法然聖人を訪ね、その縁で親鸞聖人に巡り会ってその門弟となった、とあります。やがて聖人の越後流罪にも東国布教にもつき従ったと記されています。親鸞の帰洛後は横曽根(現在の茨城県常総市。旧水海道市)を本拠として念仏布教にあたったといえます。

性信の影響下にある門徒たちを横曽根門徒といえます。彼らは下総国北部、常陸国西南部、下野国と上野国・武蔵国の接点の付近、さらには東北地方南端(福島県)まで勢力を伸ばしました。

ところが、板倉町の宝福寺安置の性信座像には、胎内に銘文があります。鎌倉時代の十三世紀末に製作されたこの座像は、その銘文によって半年後(ご)に修復や塗り替えがなされたことが分かります。延文六年(一二六六)塗り替えのときに、興味深い銘文が記されていました。

上野国佐貫庄板倉法福寺の先師横曽根性信上人の御影、第三度の御彩色おわんぬ、〔茨城大学人文学部紀要〕人文科学論集第二十号に翻刻。一九八七年。一部を読み下しにしました)

何が興味深いかというと、法福寺(宝福寺)は過去から現在に至るまで真言宗の寺院であ

り続けてきたことです(現在は真言宗豊山派)。二度も真言宗の寺院であったことはありません。

また茨城県東茨城郡茨城町の円福寺に安置されている等身大の阿弥陀三尊立像のうち、中尊には胎内銘があります。また足柄にも銘文が記されています。「帰命尽十方無碍光如来」「南無阿弥陀仏」などの名号や、性信のあとを継いで横曽根門徒の第二代の指導者となった証智尼の名、性信の門弟の性雲などの名もありますから、明らかに横曽根門徒の人たちが制作した阿弥陀如来立像なのです。

ところが胎内銘を見ますと、援助した人たちや組織のなかに、醍醐三寶院という真言宗の有力寺院の名があります。またこの阿弥陀仏は「本師証智比丘尼御等身也」とあります。また「南无証智比丘尼」などという、および親鸞の教えからは考えられない文章もあります。横曽根門徒たちは阿弥陀仏を指導者証智と同じ背文に作り、「南无証智比丘尼」と崇拜しているのです。

このようにいろいろと史料を検討していきますと、横曽根門徒には真言宗の影響が強かったといわねばなりません。これが東国の初期真宗門徒の実態の一つだったのです。おそらく、初期真宗門徒は真言宗の影響下の日常生活のなかで親鸞聖人の信仰を受け止めていたのです。机の上で書かれた教義書どおりには人間生活は動かなかったのだ、というのが私の感想です。

## 稱讚寺 行事予定

二〇二二年 六月の行事予定

六日(日) 日曜礼拝 午前十時

のんのん法話会 午後二時

三日(日) 日曜礼拝 午前十時

六日(水) のんのん法話会 午後二時

二〇日(日) 日曜礼拝 午前十時

二六日(土) のんのん法話会 午後二時

二七日(日) 日曜礼拝 午前十時

永代経法要 午後二時

※お朝事のおつとめ 毎日午前七時

※お夕事のおつとめ 毎日午後六時

## 日々ごとに変わる

はな

## あじさいの花

二〇二二年 心のともしび「六月カレンダーより

二〇二二年 七月の行事予定

四日(日) 日曜礼拝 午前十時

六日(火) のんのん法話会 午後二時

一日(日) 日曜礼拝 午前十時

六日(金) のんのん法話会 午後二時

歓喜会法要

八日(日) 日曜礼拝 午前十時

二五日(日) 日曜礼拝 午前十時

二六日(月) のんのん法話会 午後二時

二〇二二年 八月の行事予定

一日(日) 日曜礼拝 午前十時

六日(金) のんのん法話会 午後二時

八日(日) 日曜礼拝 午前十時

二五日(日) 日曜礼拝 午前十時

六日(月) のんのん法話会 午後二時

盂蘭盆会

二二日(日) 日曜礼拝 午前十時

二六日(木) のんのん法話会 午後二時

二九日(日) 日曜礼拝 午前十時

## 編集後記

四月三〇日の読売新聞に、新型コロナウイルス感染者への差別についての調査報告が掲載されておりました。

差別がある」との回答が八八%を占め、大半の人が差別の存在を認識しているとのこと。この感染が広がった昨春以降、感染者の自宅に投石された、医療従事者が心ない暴言を受けた、差別や偏見に関する事例が相次いだことが影響しているとのこと。

周囲の人が過去に感染したことがあると知った場合、以前と同じように接することができると思うかについては、「できる」が八一%、「できない」が一八%であった。

また、自分が感染した場合、差別にあう不安を感じるかとの問いでは、「天いに感じる」・「多少は感じる」が八三%を占めているようです。

自分が感染したら、差別・偏見にあうと思っているのであれば、他の人が感染したら、差別・偏見をしかねない自分であることを、知っておく必要があるそうです。

自身の周りで、もし感染した人を知ったら、差別・偏見を持たないように心がけねばと思います。また、今後、ワクチンを接種した、していないでも、偏見・差別をしないようにしたいものだと思います。